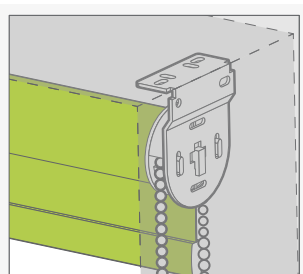
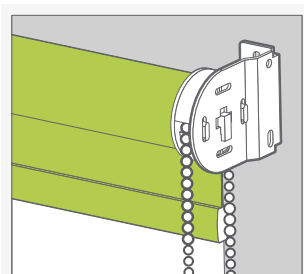


以下より採寸方法をご選択下さい。

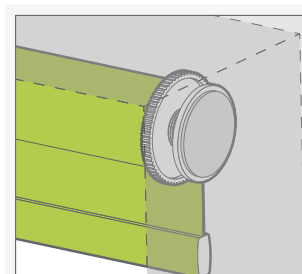
チェーン式



天井付け (窓枠内)

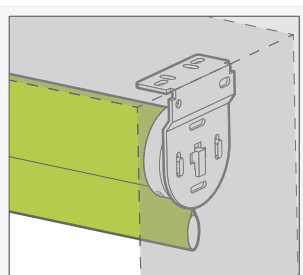


正面付け (窓枠外)

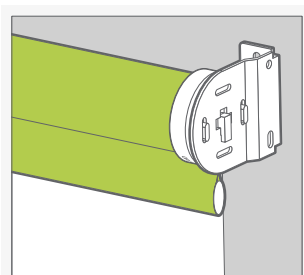


突っ張り式

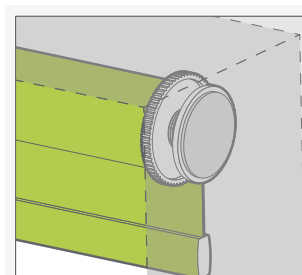
スマートビュー電動 / ワンタッチ電動



天井付け (窓枠内)

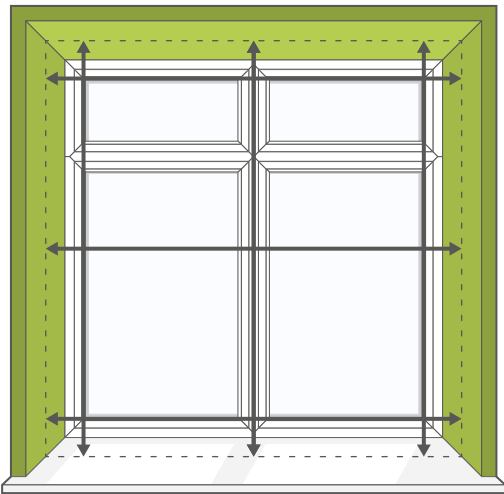


正面付け (窓枠外)



突っ張り式

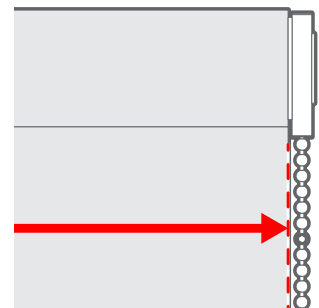
天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、取り付けする箇所（上部）の寸法を入力します。数値に5mm以上の誤差がある場合は、そのまま取り付けると操作不良を起こす可能性があるため、カスタマーサポートまでご相談ください。
- ご注文の際は、ゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするように製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右合わせて0.5cm小さく製作します。生地幅はコントローラー部分とブラケット部品があるため、ご注文いただいた寸法（窓枠内寸）から左右合わせて3.5cm小さくなります。丈はスクリーンが巻いてある筒が隠れるよう10-15cm長めに製作します。



アドバイス：

金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

スクリーンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。（表参照）



必要な奥行き

ロールスクリーン

5cm

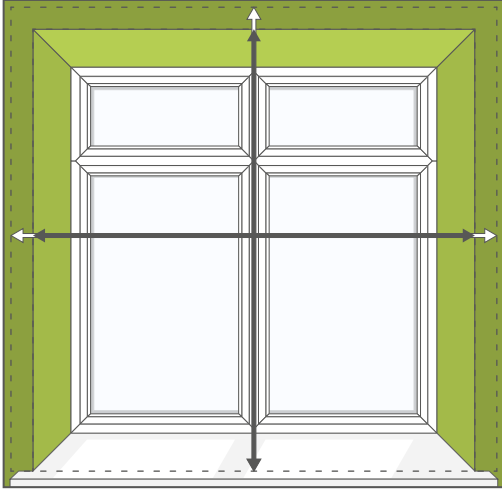
ダブルロール

幅160.9cm以下7cm

幅161cm以上8.8cm

ダブルロールスクリーン：注文幅160.9cm以下の場合は横幅（奥行）7cm・縦幅12cm、注文幅161cm以上の場合は横幅（奥行）8.8cm・縦幅15cmのブラケットを使用します。※注文の中に一つでも注文幅161cm以上の商品が含まれる場合は、形状を合わせるため、全ての商品を横幅（奥行）8.8cm・縦幅15cmのブラケットで製作します。

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合



「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。
- 光漏れを防ぐために、窓枠の上に7cm以上、左右に5cmずつの重なり分量を追加するのがおすすめです。ただしダブルロールスクリーンの場合、ブラケット（取り付け金具）の縦寸法は注文幅が159.9cm以下の場合12cm、160cm以上の場合15cmとなりますので、窓枠上に十分な隙間を確保します。
- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

壁面に取り付ける場合：

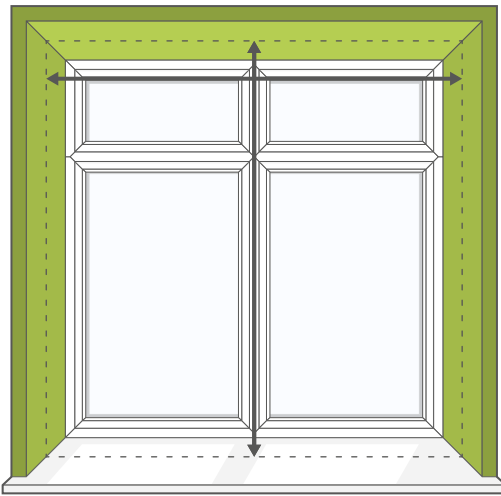
- ・ 窓枠が壁面からどれくらい突き出しているかで確認下さい。突き出し量が1cm以上の場合は、生地巻き取りの向きを逆（リバース巻き）にすることで窓枠との干渉を防ぎます。
- ・ 生地幅はコントローラー部分とブラケット部品があるため、ご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。（例：生地幅を50cmにする場合は、52.9cmでご注文下さい。ただし、コントローラーなどを含めた全幅は、52.9cmとなりますので、壁や障害物が52.9cm内にならないことを確認下さい）

窓枠（木枠）に取り付ける場合：

- ・ 窓枠外寸でご注文下さい。窓枠の厚み（幅）は2.5cm以上必要です。
- ・ 生地幅はコントローラー部分とブラケット部品があるため、ご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。

アドバイス・ダブルロールスクリーン：注文幅159.9cm以下の場合横幅（奥行）7cm・縦幅12cm、注文幅160cm以上の場合は横幅（奥行）8.8cm・縦幅15cmのブラケットを使用します。※注文の中に一つでも注文幅161cm以上の商品が含まれる場合は、形状を合わせるため、全ての商品を横幅（奥行）8.8cm・縦幅15cmのブラケットで製作します。

突っ張り式仕様（ツイスト2フィット）



突っ張り式は天井付けで窓枠内側に取り付けます。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合があります。

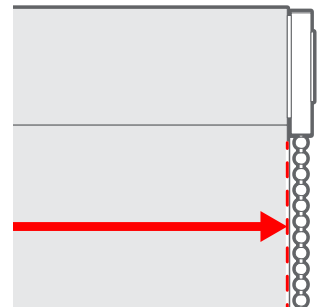
注意：

ツイスト2フィット（突っ張り式）は、突っ張る強度に影響が出るため、必ず金属メジャーを使用してmm単位で採寸して下さい。

■ 窓枠の内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。幅の数値が異なる場合は、突っ張る箇所（上部）の寸法を入力します。

■ ゆとりは差し引かず、採寸したそのままの寸法で注文します。ツイスト2フィット（突っ張り式）は、サイドにコントローラーと部品があるため、生地幅は注文寸法（窓枠内寸）より下記の通り小さくなります。

- 幅160.5cm×丈180cm以下の商品の場合、注文寸法（窓枠内寸）から左右合わせて約3～3.5cm小さくなります。
- 幅160.6cm以上、または丈180.1cm以上の商品の場合、注文寸法（窓枠内寸）から左右合わせて約5cm小さくなります。



アドバイス：

スクリーンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。（図参照）



取付に必要な奥行

幅160.5cm
丈180cm以下

4cm

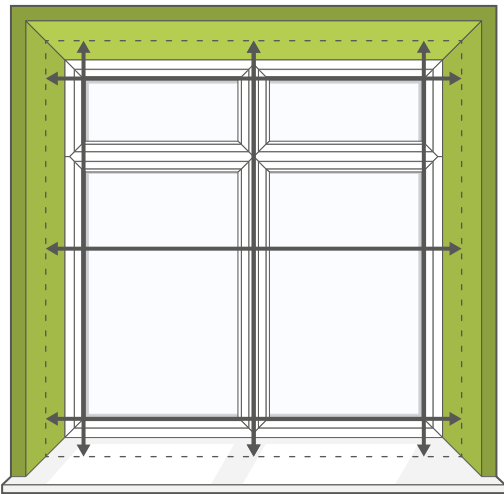
幅160.6cm以上
または丈180.1cm以上

5cm

※注意:

- 商品が幅160.5cm、丈180cm以下の場合、必要奥行は4cmですが、突っ張る部品の直径は5cmです。
- 商品が幅160.6cm以上または丈180.1cm以上の場合、必要奥行は5cmですが、突っ張る部品の直径は6cmです。

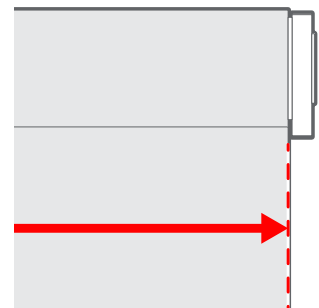
天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、取り付けする箇所（上部）の寸法を入力します。数値に5mm以上の誤差がある場合は、そのまま取り付けると操作不良を起こす可能性があるため、カスタマーサポートまでご相談ください。
- ご注文の際は、ゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするように製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右合わせて0.5cm小さく製作します。生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文いただいた寸法（窓枠内寸）から左右合わせて3.5cm小さくなります。丈はスクリーンが巻いてある筒が隠れるよう10-15cm長めに製作します。



アドバイス：

金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

スクリーンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。（表参照）

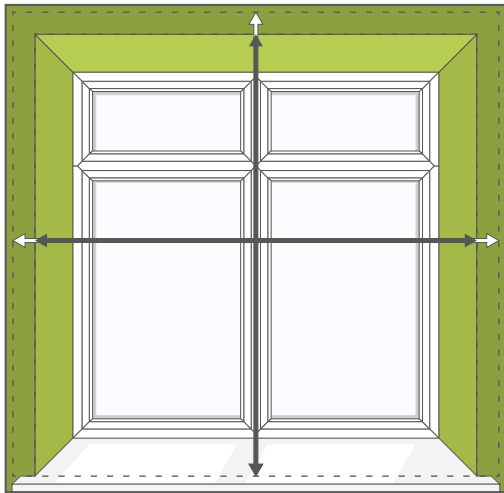


必要な奥行き

ロールスクリーン

5cm

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合

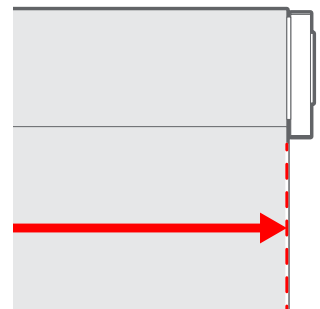


「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。

- 窓枠の上に7cm以上、左右に5cmずつに重なり分量を追加するのがおすすめです。ご注文いただいた寸法が製品サイズとなります。生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文幅から2.9cm小さくなります。



- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

壁面に取り付ける場合：

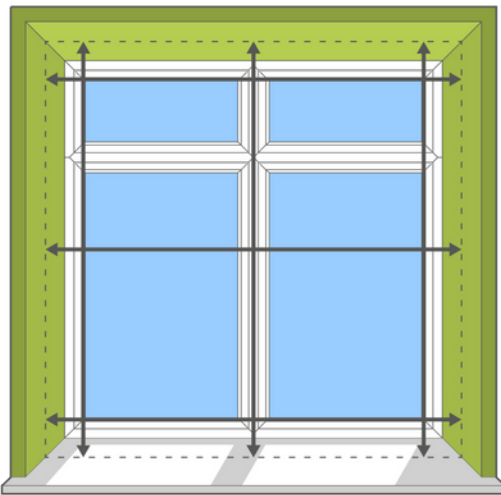
- ・ 窓枠が壁面からどれくらい突き出しているかご確認ください。突き出し量が1cm以上の場合は、生地巻き取り向きを逆（リバース巻き）にすることで窓枠との干渉を防ぎます。（リバース巻きご希望の方はカスタマーサポートまでご連絡下さい）。
- ・ 生地幅はロールスクリーンの構造上、ご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。（例：生地幅を50cmにする場合、52.9cmでご注文下さい。ただしブラケット金具を含めた全幅は52.9cmとなりますので、壁や障害物が52.9cm以内でないことをご確認ください。）

窓枠（木枠）に取り付ける場合：

- ・ 窓枠外寸でご注文下さい。窓枠の厚み（幅）は2.5cm以上必要です。
- ・ ロールスクリーンの構造上、生地幅はご注文いただいた寸法（全幅）から2.9cm小さくなります。

このガイドはツイスト2フィット（突っ張り式）の採寸ガイドです。
突っ張り式は窓枠の内側に取り付けるので「天井付け」を選択します。

ツイスト2フィット（突っ張り式）採寸方法



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合があります。

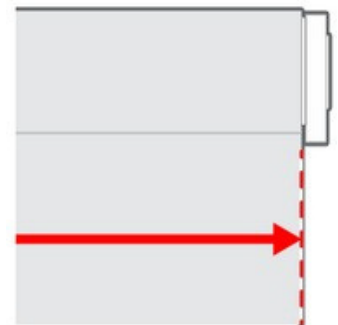
注意：

ツイスト2フィット（突っ張り式）は、突っ張る強度に影響が出るため、必ず金属メジャーを使用してmm単位で採寸して下さい。

■ 窓枠の内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。幅の数値が異なる場合は、突っ張る箇所（上部）の寸法を入力します。

■ ゆとりは差し引かず、採寸したそのままの寸法で注文します。
ツイスト2フィット（突っ張り式）は、サイドに部品があるため、生地幅は注文寸法（窓枠内寸）より下記の通り小さくなります。

- 幅が58.5cm～61.4cmの場合、注文寸法（窓枠内寸）から左右合わせて約3cm小さくなります。
- 幅が61.5cm～210.5cmの場合、注文寸法（窓枠内寸）から左右合わせて約5cm小さくなります。



アドバイス：

スクリーンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。（図参照）



必要な奥行

幅58.5cm～61.4cm

4cm

幅61.5cm～210.5cm

5cm

注意

- 幅が58.5cm～61.4cmの場合、必要奥行は4cmですが、突っ張る部品の直径は4.3cmです。
- 幅が61.5cm～210.5cmの場合、必要奥行は5cmですが、突っ張る部品の直径は6cmです。